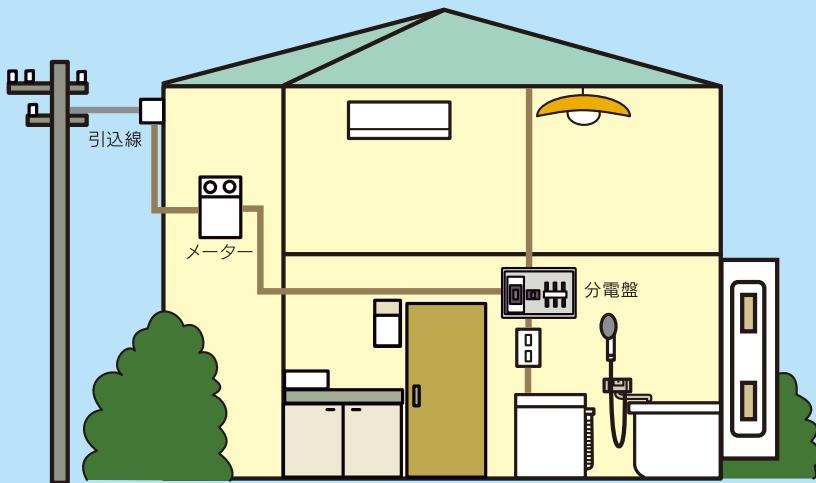


電気設備の増設や改修工事についてのご相談は住宅電気保修センターへどうぞ



住宅電気保修センター

 住宅電気保修センターは電気工事店の紹介窓口です。

住宅電気保修センターは、コンセントの増設や修理などの電気工事を行う工事店を紹介する受付窓口であり、電気工事業協同組合に設置されています。

札幌住宅電気保修センター ☎ 242-5755

（主な担当地域は札幌市、千歳市、江別市、恵庭市、北広島市、石狩市です）

〈営業時間〉 平日／8:30～17:20

配電設備や停電に関する地域別お問い合わせ先

北海道電力ネットワーク株式会社

道央統括支店 ☎ 0120-060-327

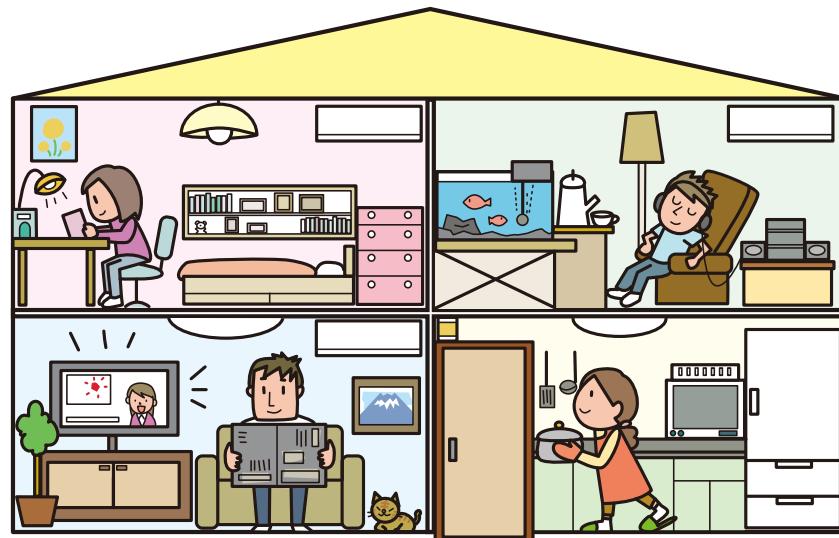
札幌西ネットワークセンター ☎ 0120-060-329

札幌南ネットワークセンター ☎ 0120-060-342

〈営業時間〉 平日／9:00～17:00

電気安全のしおり

電気を安全にお使いいただくために



この調査は、電気のご契約会社にかかわらず、北海道電力ネットワーク株式会社から委託を受けて北海道電気工事業工業組合が、定期的に（4年に1回、特定施設等を除く）お伺いし、電気設備の安全調査を無料で実施しています。

経済産業大臣登録調査機関



北海道電気工事業工業組合

札幌支部

〒060-0041 札幌市中央区大通東3丁目2 北海道電気会館

TEL.011-231-1851 FAX.011-231-1855

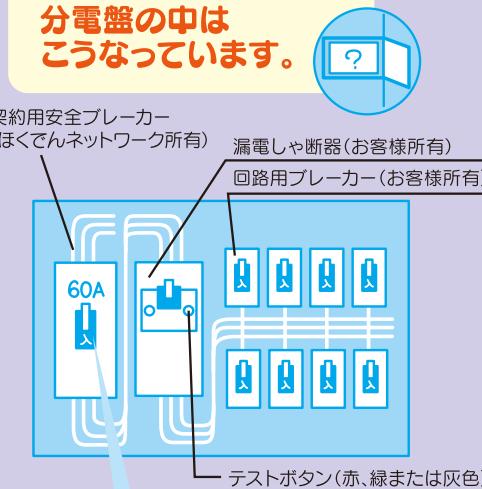
平日 9:00～17:00

漏電しや断器を取り付けていますか？

電気は安全・便利・クリーンなエネルギーとして私たちの暮らしには欠かすことのできないものです。しかし、使い方をあやまると思わぬ事故につながります。

事故を未然に防ぎ、電気を安全・快適にお使いいただくためにも、ぜひ漏電しや断器をお取り付けください

分電盤の中はこうなっています。



◎契約用安全ブレーカー

契約用安全ブレーカーのツマミ・表面の色

ツマミの色				表面の色		
10A	15A	20A	30A	40A	50A	60A
黒	黄	青	赤	灰	茶	紫

※20Aのツマミの色は「深緑」の場合があります。

◎契約用安全ブレーカー

一度に契約容量以上の電気を使用したときに自動的にスイッチが切れます。

◎漏電しや断器

漏電を瞬時に感知して電気を止める安全の見張り番です。

◎テストボタン

正しく動作するかどうかをチェックするボタンです。

◎回路用ブレーカー

屋内の回路に一つずつついています。コードがショート(短絡)したり、電気器具の使いすぎで、スイッチが切れ、その回路の電気を止めます。

危険！



漏電しや断器を確実に動作させるために電気製品にはアースは取り付けましょう

万が一電気が漏れたときでも、電気を大地に逃してくれるのが「アース」です。感電を防ぐためにも洗濯機、エアコンなどにはしっかりと取り付けましょう。



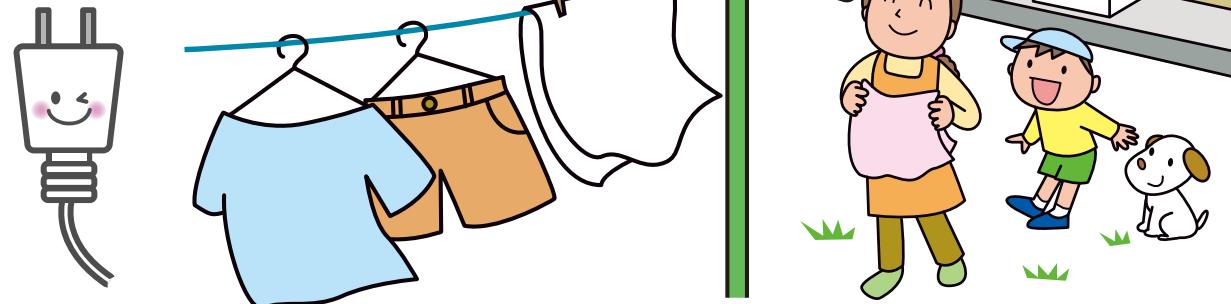
定期的に漏電しや断器をテストしましょう。

ひと月に一度は漏電しや断器のテストボタンを押して、正しく動作するかどうかを確認しましょう。(この時、停電しますので注意しましょう)

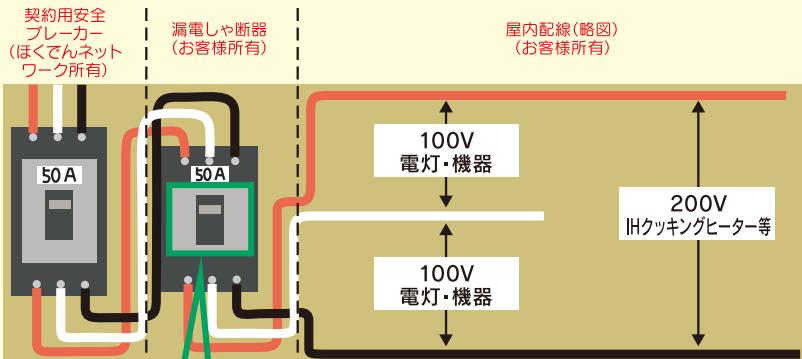
①テストボタンを押したとき電気が消え、スイッチが動作すれば正常です。

②スイッチを上げて元に戻します。

(注)詳しくは8ページを参照願います。



**単相3線式で電気をご使用のお客様へ
「漏電しや断器 単3中性線欠相保護付」のご確認をお願いします。**



◆単相3線式とは

一般住宅の配線方式には電線が2本(白・黒)の単相2線式と、3本(赤・白・黒)の単相3線式とがあります。単相2線式では100V機器だけ使用できるのに対して、単相3線式は100V機器に加えてIHクッキングヒーターやエアコンなどの200V機器が使用できる特徴があります。

◆漏電しや断器とは

万一電気配線や家電機器が漏電を起こしたとき、自動的に電気を止めて、火災や感電などの事故を防ぐ装置です。

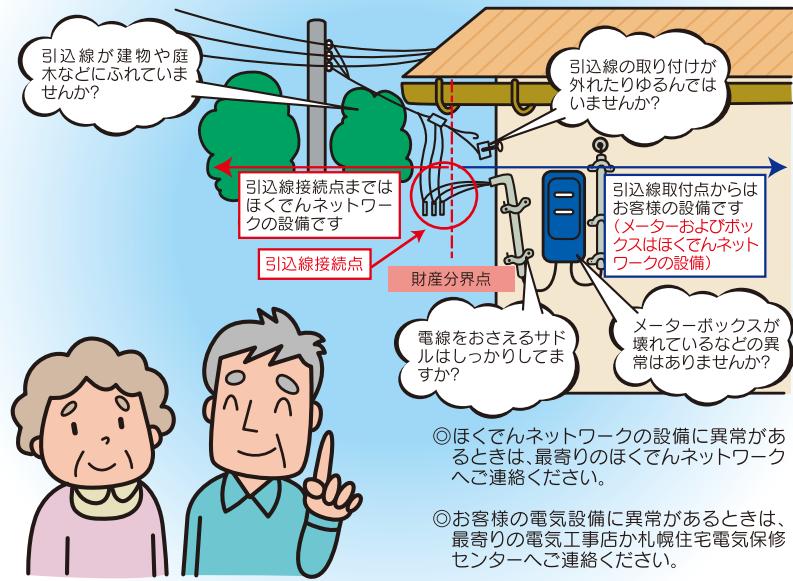
◆単3中性線欠相保護とは

単相3線式の中性(白)線で、万一断線や端子弛み等が起きると100V用の家電機器に100V以上の高い電圧が加わり、家電機器を損傷することがあります。こうした事が発生した場合に、自動的に電気を止めて家電機器の損傷を防ぐ機能をいいます。

「単3中性線欠相保護付」の表示がない漏電しや断器や「漏電しや断器」自体の取付がされていない場合についても、「単3中性線欠相保護付漏電しや断器」への取替や取付をお勧めいたします。なお、工事等につきましては最寄りの電気工事店か札幌住宅電気保修センターへご相談ください。

札幌住宅電気保修センター TEL.242-5755
(受付時間／平日 8時30分～17時20分まで)

屋外の配線も 時々チェックしてください



◎ほくでんネットワークの設備に異常があるときは、最寄りのほくでんネットワークへご連絡ください。

◎お客様の電気設備に異常があるときは、最寄りの電気工事店か札幌住宅電気保修センターへご連絡ください。

屋外の作業やお子さまの遊びにもご注意を



テレビのアンテナを立てたり、庭木の剪定などでは電線・引込線に注意ください。



電柱に登って遊んだり、発電所の柵の中に入ってはいけません。



魚釣りのシーズンは、電線に釣り竿がぶれないよう気をつけてください。



タコあこやカイト遊びは、電線のない場所で。

お願い

万一、タコや鯉のぼりなどが電線や電柱に引っかかった場合は、危険ですから電柱に登ったり、竿などではずそうとしないで、お近くのほくでんネットワークへご連絡ください

電気器具のこんな使い方 していませんか？

コンセントやコードなど、私たちの身近にある電気器具を
正しく使って、電気と上手に付き合っていきましょう。

ぬれ手に電気

水気は電気を通しやすくなります。
ぬれた手でコンセントやスイッチ
にふれないようにしましょう。

たばねたコード

コードが過熱してキケン!
たばねずにお使いください。

タコ足配線

コードが過熱してキケン!
コンセントを増やしましょう。



確認しましょう安全マーク

粗悪品による事故を防ぐため、電気製品の製造・販売は法律で規制されます。このマークは特に厳しく安全確認を要する製品が、その安全基準に適合していることを示しています。また、民間の機関が安全性を確認したエスマーク表示付きの製品もあります。



「いらない!なんて言わないで。
**取扱説明書は
きちんと保管**

使用前や手入れ、点検の際に必
要です。よく読んで正しくお使い
ください。

アースはどこ?

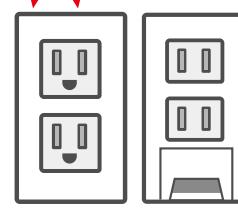
洗濯機、エアコン、井戸ポンプ、泉
水クリーナー、自動販売機などには
必ずアース(接地線)をつけま
しょう。

差し込んだままのプラグ

エアコンや冷蔵庫、洗濯機など長い間プラグをコン
セントに差し込んだままにしておくとホコリや湿気
により、漏電や過熱の原因になることがあります。
ときどきプラグを抜いて乾いた布で掃除しましょ
う。

家具の下にコード

家具の下敷きにしたり、ふすまなどではさんだりすると、コードが
損傷して停電や火災につながり
ます。



アースターミナル付コンセント



アースのチカラ

洗濯機、乾燥機、食器洗い乾燥機、電子レンジ、
温水洗浄便座や洗面室、キッチンなど、水まわりのコンセントは、必ず漏電ブレーカー内蔵や
アースターミナル付のものを選びましょう。



突然の停電、そんなとき



停電の原因は、ほとんどが電気器具の故障、またはブレーカーの動作や雷による漏電しや断器の動作です。突然、電気が消えたときはこの絵の要領で処置してください。



まずは落ち着いて隣近所をご確認ください。



近所も
消えている

契約用安全ブレーカー、
漏電しや断器とも切れ
ていない。



わが家だけ
消えている!

ヘアドライヤー、トースター、アイロンなど使用中の電気器具をコンセントから抜いて、ブレーカー、漏電しや断器のスイッチを確認してください。



漏電しや断器が
切れている

もう一度スイッチを入れてみて
切れるようであれば、すぐにつな
絡ください。

どうしたら!?

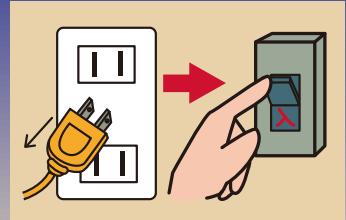


ブレーカー、回路用
ブレーカーが切れている

電気器具の使い過ぎなどが考えられます。



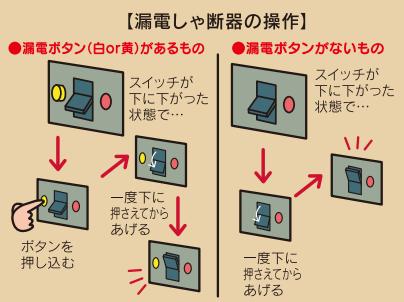
ブレーカーも回路用
ブレーカーも切れていない



お使いになっていた電気器具をコンセントからはずし、切れたブレーカーのつまみをもう一度上にあげてみてください。



スイッチを入れても
また切れてしまう



ほくでんネットワーク
に連絡!

(電話番号は本誌裏面をご覧ください。)



災害時の安全対策は

地震や台風などの災害は、まず落ち着くことが大切です。
あわてずに電気の安全チェックをお願いします。



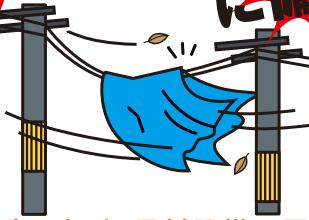
スイッチを切り、
プラグを抜く!

グラッ
きたら!

アイロン、ドライヤー、ストーブなど熱を出す
機器は、火事の原因となるので、プラグを
コンセントから抜いてください。



台風や暴風雨
に備えて!

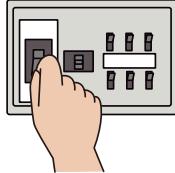


飛散防止のため、屋外設備の固定を

ビニールシート類や看板、トタン屋根、アンテナなどが
飛ばされ電線断線や電柱倒壊等を引きおこし停電の
おそれがあります。あらかじめしっかりと固定しましょう。



ブレーカーを
切りにする!



家の外に避難する時は、分電盤のブレーカーを
切ってください。



漏電に
注意!

器具の使用は点検後!
水に浸かったり、破損したものは漏電
や火災の原因となるおそれがあります。
電気店などで点検し、安全を確かめて
使いましょう



万全ですか?

突然の
停電!



懐中電灯やラジオの準備!

地震などの災害による突然の停電に役立つ懐中電灯、
情報を得るためのラジオは、すぐ手に取れるわかりや
すいところに置いておきましょう。
電池の点検や予備の確認もお忘れなく。



12番
34番
...
危ない!

1	2
3	4
5	6
7	8
9	0
1	1

電柱番号札

垂れ下がった電線には絶対さわらない!

感電する恐れがあります。最寄りのほくでんネットワークに通報して
下さい。電柱番号でお知らせするとすぐ場所が分かります。



濡れたままで電気製品を
使用するのは非常に危険です。

安全チェックは
お済みですか?





お知らせ

地震の時、自動で電気を遮断できる 感震ブレーカーをつけましょう

ご存じですか？
地震による火災の過半数は
電気が原因という事実。



東日本大震災における本震による火災全111件のうち、原因が特定されたものが108件。そのうち過半数が電気関係の出火でした。地震が引き起こす電気火災とは、地震の揺れに伴う電気機器からの出火や、停電が復旧したときに発生する火災のことです。



※日本火灾学会誌「2011年東日本大震災 火災等調査報告書」より作成

電気火災対策には、感震ブレーカーが効果的です。

感震ブレーカーは、地震発生時に設定値以上の揺れを感じたときに、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める器具です。感震ブレーカーの設置は、不在時やブレーカーを切って避難する余裕がない場合に電気火災を防止する有効な手段です。

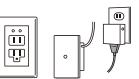
主な感震ブレーカーの種類



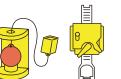
分電盤タイプ(内蔵型)



分電盤タイプ(後付型)



コンセントタイプ



簡易タイプ

感震ブレーカーは、延焼危険性や避難困難度が特に高い「地震時等の電気火災の発生・延焼等の危険解消に取り組むべき地域（※1）」及び「防火地域・準防火地域（※2）において、緊急的・重点的な普及促進が必要とされています。

内規程（※3）において、感震ブレーカー（分電盤タイプ）の「地震時等の電気火災の発生・延焼等の危険解消に取り組むべき地域」の全ての住宅等及び「防火地域・準防火地域」の住宅等への設置が勧告の事項となり、それ以外の住宅等への設置が推奨の事項となりました。

※1 地震時等の電気火災の発生・延焼等の危険解消に優先的に取り組むべきとして地方自治体が指定した地域のことです。（詳細については、大規模地震時の電気火災抑制策の検討について（報告）（平成30年3月）を参照してください。）

※2 都市計画法に基づく「防火地域・準防火地域」の木造及び鉄骨造の住宅等（共に耐火建築物を除く。）です。

※3 「内規程」とは、電気需要場所における電気設備の保安を確保することを目的として作成された規則規格です。設計、施工についての技術的な事項をすべて包含し、これをわかりやすく記述したもので、（社）日本電気協会が標準規格として作成されました。

感震ブレーカー設置の留意点

製品ごとの特徴・注意点を踏まえ、適切に選びましょう！

分電盤タイプ(内蔵型)

費用：約5～8万円（標準的なもの）
※電気工事が必要

分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感じ、ブレーカーを切って電気を遮断します。



分電盤タイプ(後付型)

費用：約2万円
※電気工事が必要

分電盤に感震機能を外付けするタイプで、センサーが揺れを感じ、ブレーカーを切つて電気を遮断します。
※漏電ブレーカーが設置されている場合に設置可能



コンセントタイプ

費用：約5千円～2万円程度

コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感じ、コンセントから電気を遮断します。

（埋込型）
壁面などに取り付け
て使うもの
※電気工事が必要

（タップ型）
既存のコンセントに
差し込んで使うもの
※電気工事が不要

簡易タイプ

費用：約2～4千円程度
※ホームセンター・家電量販店で購入可能
(電気工事不要)
ばねの作動や重りの落下など
によりブレーカーを切つて電
気を遮断します。



感震装置のはたらき【分電盤タイプの場合】

基本動作

地震探知
地震探知後、3分が経過する
と、主幹漏電ブレーカー
を自動遮断します。

検知から3分後

警報ON(3分間)
通電
警報OFF
通電遮断

検知後3分以内に 停電が発生した場合

地震探知後3分以内に
停電が発生した場合
復電直後に主幹漏電ブレーカーを
自動遮断します。

感震ブレーカーの設定に際しては、

急に電気が止まつても困らないための対策と合わせて取り組むことが必要です。

- 生命の維持に直結するような医療用機器を設置している場合、停電に対処できるバッテリー等を備えてください。
 - 夜間の照明確保のために、停電時に作動する足元灯や樓中電灯などの照明器具を常備しましょう。
- ※感震ブレーカーの設置に間隔らず、地震時やその他の自然災害時にも大規模な停電が発生するおそれがあることから、平時から停電対策に取り組みましょう。

耐震対策等と合わせて取り組むとさらに効果的です。

- 避難路の確保等のために、建物の耐震化や家具の転倒防止等に取り組みましょう。
- 復電する場合には、事前にガス漏れ等がないことの確認や、電気製品の安全の確認を行ってください。
- 仮に、復電後、焦げたような臭いを感じた場合には、直ちにブレーカーを遮断し、再度、安全確認を行い、原因が分からぬ場合には電気の使用を見合せることができます。
- 定期的な作動性能の確認や、必要に応じて部品等の交換を行いましょう。

この資料に関するお問い合わせ先

○ 内閣府政策統括官(防災担当) TEL: 100-8914 東京都千代田区永田町1丁目6番1号 中央合同庁舎第8号館 TEL:(03)-5253-2111(代表)

ホームページ (<http://www.bousai.go.jp/jishin/syuto/denkikasaisaitaisaku/index.html>)

○ 消防庁 予防課 TEL: 100-8927 東京都千代田区霞が関2丁目1番2号 TEL:(03)-5253-7523

○ 経済産業省産業保安グループ 電力安全課 TEL: 100-8901 東京都千代田区霞が関1丁目3番1号 TEL: (03)-3501-1742

ホームページ (https://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/oshirase/2015/10/270105-1.html)

感震ブレーカー購入に関して：電気工事を伴うものはお近くの電気工事店へ、電気工事を伴わないものはお近くの防災用品等を取り扱うお店へお問い合わせください。



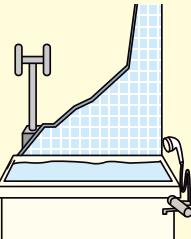
経済産業省からの 「長期使用製品安全点検制度」 に関するお知らせ

製品が古くなると部品等が劣化(経年劣化)し、火災や死亡事故を起こす恐れがあります。

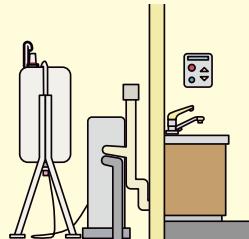
消費生活用製品安全法の改正に伴い創設された「長期使用製品安全点検制度」では、下記の対象製品(特定保守製品)を購入した場合に、メーカーなどに所有者登録することで、適切な時期に点検通知が届きます。点検通知に記載の連絡先に連絡し、点検期間中に点検を受けましょう。

点検時期の通知を受けるためには、所有者情報の正確な登録が必要です。下記の対象製品(特定保守製品)を購入した際や、所有者情報が変更となった際は、対象製品(特定保守製品)に記載の登録先(メーカーなど)に知らせましょう。

■対象製品(特定保守製品)



石油ふろがま

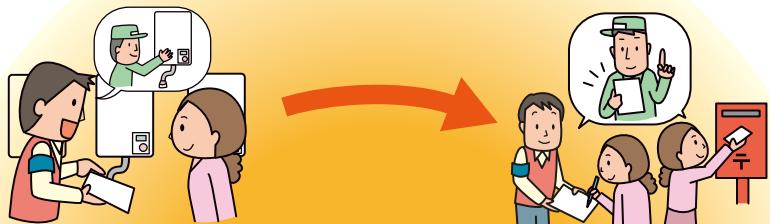


石油給湯器

経過措置対象品

- FF式石油温風暖房機
- 浴室用電気乾燥機
- ビルトイン式電気食器洗機
- 屋内式ガス瞬間湯沸器
- 屋内式ガスふろがま

1. 販売者から点検制度について説明を受けます。
2. 所有者票を返送します。
(所有者登録)



特定保守製品を買ったら

「長期使用製品安全点検制度」は、メーカーなどに登録された所有者へ点検時期を知らせ、点検を促すことで事故を防止するための制度です。

所有者票を返し、登録をしましょう。
点検時期が来たら点検を受けましょう。

3. 点検時期が来たら通知が届きます。
4. 点検を依頼します。
※点検には料金がかかります。
5. 点検を受けます。
※点検はメーカーなどが行います。



※平成21年4月1日以降に製造・輸入された製品が対象となります。

なお、それ以前の製品も点検可能ですので、詳しくはメーカーなどにお尋ねください。

対象製品に関する情報など、本制度に関する詳細は、経済産業省またはお近くの経済産業局までお問い合わせください。

〈この制度のお問い合わせ先〉

北海道経済産業局 産業部消費経済 製品安全室 TEL.011-709-1792

※個別の製品に関するお問い合わせは、対象製品のメーカー、販売店などにご連絡ください。

〈この制度のお知らせホームページ〉

URL:http://www.meti.go.jp/product_safety/consumer/system/01.html